

No.190

平成23年7月29日発行

目 次



1. 新年度を迎えて	
校長より	2
本校学生のあり方について	3
各学年担任から	4
新入生の言葉	6
新入生オリエンテーション合宿研修	7
2. 第47回体育祭	8
3. キャンパスウォーク	10
4. 活躍する仲間	
体育祭写真	11
寮祭	12
舞鶴高専交歓試合結果	13
福井県高校総体春季体育大会結果	13
北陸地区高等専門学校体育大会結果	14
ロボットコンテスト出場チーム紹介	15
デザインコンペティション出場チームについて	15
バララット大学学生派遣報告	16
バララット大学学生派遣報告会	17
5. 学園通信	
平成23年度 校務分掌	17
平成23年度 部・同好会指導教員・代表者一覧	25
学生会活動について	26
本校に着任して	26
6. 中学生の皆さんへ	
公開講座実施一覧	28
中学校だより	29

はじめに



福井高専の今

校長 池田 大祐

未曾有の大震災及びそれに伴う津波、原発事故から3ヶ月経ちますが、被災された方々の厳しい生活はずっと続いており、非常に胸が痛みます。

内閣府の調査によると、6月初めの時点で、避難所や仮設住宅あるいは親戚・知人の家などで避難生活を余儀なくされている人は全国で12万人に達しており、そのうち県外に避難している人は5万人に上るそうです。

東日本の多くの高専も被災しましたが、特に被害の大きかったのは、一関高専、仙台高専、福島高専及び茨城高専の4高専で、学生本人や学生・教職員の家族の死亡・行方不明、学生・教職員の住居等の被災、高専施設・設備の破損等甚大な被害を受けました。

本校でも、支援活動の一環として救援物資を直接被災高専に届けたり、義援金を募って、高専機構本部を通じて被災校にお渡しました。本校の学生会でも、校内及び鯖江駅前で募金活動を行い、集まった義援金は、福井県共同募金の窓口へ届けてくれました。

学生諸君が、今回の大震災の悲惨な状況を目にし、自分達も何かしたいと自発的に募金活動を展開してくれたことを非常に嬉しく思っています。

今年は、本校が主管校となって、県内を会場に北陸地区高専体育大会が開催されます。大会には北陸地区の4高専5キャンパスが参加しますが、本校はここ暫く総合優勝から遠ざかっています。

学生諸君も顧問の先生方も練習に励んでいるので今回は地の利を生かして、何とか総合優勝に漕ぎつけるとともに、一つでも多くの種目が全国大会に出場できるよう頑張ってくれることを願っています。

国際化や国際交流の推進を図っていますが、この

春休み期間中に、本校の2~3年生9名が教員2名に引率されて、協定校であるオーストラリアのバララット大学に短期留学を行ってきました。

先日、校内でその報告会が開催され、プログラム参加学生が代わる代わるスライドも利用しながら英語で報告を行いました。学生達の発表を聞いていると、僅か2週間という短い期間にもかかわらず通り一遍の報告ではなく、自分達が肌で感じた新鮮な感覚や驚き、英語を操るまでの苦労、バララット大学の先生方やホストファミリーとの心温まる交流など、まだ余韻の残る異文化体験を、自分の言葉で生き生きと表現していたのが印象的でした。

国立高専機構が平成20年度から実施している海外インターンシッププログラムに、今回初めて本校からも派遣されることになり、この夏、専攻科生がマレーシアに派遣される予定です。

また、今秋タイのキングモンクット工科大学で開催される国際シンポジウムにも本校から学生と指導教員を派遣する予定です。本年5月、被災した福島高専からマレーシア政府派遣の女子留学生1名を本校5学年に受け入れました。彼女は、本校が初めて迎える女子留学生であり、先般、女子留学生の受け入れに備えて居室を整備したことが早速役立つことになりました。

教育環境の整備については、3年前から校舎の全面改修工事を耐震化と併せて実施してきました。

これまでに、本館、機械工学科棟、電気電子工学科棟、物質工学科棟及び管理棟の工事が完了しました。国の財政事情は極めて厳しく、大変ではあります、本校は、まだ老朽施設を抱えていますので、引き続き、施設整備に努めたいと考えています。

はじめに

ー本校学生のあり方についてー

福井工業高等専門学校

開学以来半世紀近くが過ぎ、学生の考え方も保護者のそれも当時とは大きく変わってきています。これまで本校において、学生指導の基本となる考え方は、高等教育機関ということもあって、具体的に示されておらず、教員や学生・保護者各自の信義に基づいて状況に応じた指導を施してきたのが実情でした。しかし、最近この意識の格差が大きくなりつつあり、教員・保護者、そして学生の間にも認識のへだたりが目立つことが多くなってきました。

そこで、本校の理念や教育方針を踏まえ、本校学生のあるべき姿を明確に示し、本校の学生指導に対する共通認識として、学生の育成にあたってゆくものです。

1. 毎日、規則正しい生活を送ること
2. よき学生としてのマナー（社会規範）を身につけること
3. 自ら考え、自ら進んで学ぶ姿勢を示し、真摯な態度で学業に取り組むこと
4. 文化・芸術・スポーツに親しみ教養を高めること
5. 自身の将来像を描き、その実現のために計画的に行動すること



さらにより良い学生生活のために

学生主事 藤田克志

昭和40年（1965年）の開学以来、46年の伝統と歴史を誇る福井高専は、知育・德育・体育のバランスのとれた人間形成を核とした教育を施し、今や多くの卒業生が社会で活躍しています。また、学位授与機構の機関別認証評価やJABEE（日本技術者教育認定機構）などの外部評価においても、本校の伸びやかで明るい校風とのづくり・環境づくりを軸にした教育体制が非常に高い評価を得る結果となっています。これも、在学していた学生諸君や卒業生の各方面での活躍の成果であると大変感謝しています。

上欄に示した方針は、本校のアドミッションポリシーをさらに具現化したものであり、目新しいもの

ではありません。また派手なものではありません。本校開学以来の方針を繰り返したものであります。しかし、学生諸君が上欄のことを成し遂げようとするときには多くの困難が待っていることもわかつています。

学生諸君には、青春を謳歌し、楽しんで毎日を過ごして欲しいと願っています。しかし、社会的な規範を破るような行きすぎた行為は厳に慎んで欲しいとも思っています。学校での勉学、クラブ活動と家庭生活とのバランスのとれた毎日を過ごすことが、将来、一社会人として責任を果たすための近道であると考えています。毎日毎日の積み重ねが学生諸君の輝かしい未来に繋がっています。

各学年担任から

新学期を迎えて 各学年の担任から

○ 何事にも計画的に ○

F1担任 加藤 清考

6月9日から1週間、前期中間試験がありました。F1のみなさんには、試験2週間前に目標席次と試験勉強の計画表を書いてもらいましたが、はたして計画通りに進みましたか？

前期中間試験が終わって、ほっと一息ついたのもの間、7月22日からは期末試験があります。前回の計画表を良く見直して、目的が達成できた人はさらに高い目標を、達成できなかった人は何がいけなかったのかを良く反省した上で、もう一度目標を立てて、計画的に勉強をしてください。

私は、何事にも自分の目標を立てて、それを達成するために計画的に準備することが大切だと思います。また、後で結果が出た時に、はたしてその計画で十分だったか反省して次に活かすことも大切です。人生、その繰り返しです。

前期末試験が終わったら、夏休みになりますが高専の夏休みは長いです。だらだら過ごすのではなく、新しい目標を立て、計画的に行ってください。夏休み明けに、ひとまわりたくましくなった皆さんと会えるのを楽しみにしています。

○ 読書のすすめ ○

2C担任 宮本 友紀

せっかく長い夏休み、ゆっくり読書というのも贅沢な時間の使い方ではないでしょうか？私が皆さん

くらいの年齢の頃読んで心に残った本を思いつくまま挙げてみました。

レイモンド・チャンドラー「長いお別れ」（ハヤカワ文庫）ハードボイルドの傑作。私立探偵フィリップ・マーロウは今でも憧れ。

ドストエフスキイ「カラマーゾフの兄弟」（岩波文庫）大作ですが、時間のない人は1巻の「大審問官」の章までだけでも。深いです。

フーケー「水妖記」（岩波文庫）水の妖精と人間の恋物語。文体は独特ですが、悲しく美しい話。

アガサ・クリスティー「春にして君を離れ」（ハヤカワ文庫）推理小説ではないのですが、人間の弱さ故に取り返しがつかなくなるという怖い話。

藤澤 令夫「ギリシア哲学と現代」（岩波新書）大学の物理の先生に薦められた一冊。現代の自然科学的世界観を古代ギリシアの思想から読み解く。

以上、実は殆どが誰かが薦めてくれたり母の本棚で見つけたりなど、人を介して出会った本ばかりです。同じようにまた私から皆さんの誰かにつなげることができたなら幸いに思います。

○ 高専生活の中間地点 ○

3E担任 米田 知晃

3年生は、高専にすっかり慣れ、学生生活を謳歌している時期でしょう。しかし、楽しいだけではなく、自分が成長できるような取り組みも必要です。近年、就職活動は厳しくなってきており、高専といえども安穏としている状況ではありません。優秀な学生なら取りたいが、そうでなければ採用しな

各学年担任から

いという企業が増えています。そのため、企業が是非必要だと思うような人物になるために、今から始めておくべきことがあります。自分のやりたいことではなく、やるべきことを考え、熱意を持って行動すること。周りの状況をよく観察し、その場にあつた振る舞いをすること。保護者や先生に対して報告・連絡・相談をすること。自分の考えていることを正しく相手に伝えること。書いてみると当たり前のことですが、出来ているでしょうか。

この夏休みは、就職や進学など進路のことを考え始めるいい機会です。是非、将来のことを考え、少しでも具体的な取り組みを始めましょう。

夏休みは自分磨き

4M担任 金田直人

4月末の体育祭に始まり、寮祭、前期中間試験が終了しました。気が付けばもう1年間の3/4が過ぎ去っています。近年の福井高専は前期にたくさんの学校行事があり、学生の皆さんにおいては慌ただしい日々を送っていることと思います。それに加え、本業の勉学・課外活動もあり、心身ともに疲れていることでしょう。

8月・9月は夏休み期間なので、皆さんは大変楽しみにしていると思います。休みに入ったら、まずこれまでの慌ただしかった日々の疲れを癒して下さい。そして、余裕が出来たら是非「夏休みに入るまでの4ヵ月間で自分は何をしてきたのか?何ができるようになったのか?」を見つめなおしてみて下さい。普段はそういうことを考える時間はなかなか無いかと思います。自己分析をして自分の成長およ

びこれから課題を認識することは、今後の将来を考える上で非常に重要なことです。高専での学生生活は先に述べたようにアツという間に過ぎていきます。時間を有効に使い、一皮むけてみませんか?

5年生の最後の夏休み

5E担任 斎藤徹

5年の夏休みって自分自身が高専の5年の時は何をしていただろうか?20年以上前になるが、クラスではほぼ全員の就職・進学もすでに決まっていたし、私自身は近くの電気系の工場でアルバイトをしていたはず。だが今年はどうであろうか?本来の不景気の影響に、東北の震災の影響も加わり、極めて厳しい就職戦線。推薦書付きで送り出した人も次々と不合格だったりする。このままでは担任クラスの何人かは就職活動中、大学編入者も何人かは試験になるかもしれない。

とはいっても最後の夏休みには違いない。特に就職する人は呑気に過ごせる最後の夏かもしれない。海水浴にキャンプを楽しんで下さい、5年はね。

1~4年のは先輩のこの超就職難だからこそ、少しでもPRできる何かを作る夏休みにしてください。資格試験の準備もいいでしょう。アルバイトで仕事の厳しさを痛感するのもいいでしょう。5年の4月に自信の持てる何かはありますか?そのための計画は立てていますか?特に、4年生の方、秋からでは出遅れますよ~!

新入生の言葉

新入学生の言葉

○ 「高専って〇〇〇〇〇」 ○

F2 田 中 浩 貴

入学してからもうすぐ3ヶ月間が経とうとしていた。高専での生活に慣れてきたと言えば、嘘になってしまうわけだが、初めよりは慣れてきたと言える。最近では、自分から話しかけることのできるクラスメートも増えてきて、楽しくなり始めてきた。学校行事の中には仲良くなることを目的としたものもあり、とても喜ばしいことだった。

その代表例が奥越での合宿だ。1つの部屋で7、8人が同じ屋根の下で寝るという形だ。自由時間がそれほどなかったのは残念だったが、食事時間等の時間を含め、話す時間はあったと言える。仲良くなった人が特定ではあるが、絆が深まったことに違はない。

また、初体育祭でも同じことが言える。参加した人だけと特定はされるが、参加者だけでなく、先輩方とも親しくなれた。

行事だけでなく、学校のシステムも良かった。1年生だけ学科合同であるため、より親しくなれる範囲を広げることができる。

このようなことから私はこういうことを思い始めた。「高専って素晴らしい」と。

専攻科へ入学して

1PS 浅 野 純

専攻科生として高専での新しい生活が始まって数ヵ月、新学期の前半を終えようとしていますが、本科の時と違う学校生活の違いに未だ戸惑うことが多いです。本科の時以上にやることが多く、授業を受けて勉強を頑張るだけでなく、自分の考えをしっかりと持ち、より一層頑張らなければなりません。また授業の方でも形態・内容ががらりと変わり、本科の時に専門にしていた電気電子以外の他学科の授業が多く入るようになりました。

機械・電子情報・物質・環境といった内容や技術者関連の授業を受講していますが、今まで専門を中心に勉強してきたため、なかなか理解するのは難しく、課題が出て也要領よく出来ないことが多いです。テストの方でも実施するものやしないもの、普段の授業で実施したりと専攻科独自の形で行うため、本科との違いを改めて実感しました。

今年3月に起きた東日本地震からも数ヵ月経ちましたが、この災害によってこれから技術者には何が必要かということ、そして自分は何をすべきか、できるのかということを考えさせられました。しかし、この時から自分の答えというものがまだはつきりと出せていません。今は専攻科の授業・課題など新しい環境に慣れるのに四苦八苦していますが、専攻科2年間という短い時間でその答えが出せるように、また答えが出せなくてもきっかけになるようなことに出会えるように頑張りたいと思います。

新入生オリエンテーション

新入生オリエンテーション合宿研修

服育とアルゴリズム体操
-平23年度新入生オリエンテーション-

学生主事 藤田克志

去る4月13、14日の両日、奥越高原青少年自然の家にて新入生オリエンテーションが行われました。1年生201名、関係教職員が参加し、2日間のスケジュールをほぼ時間通りに行なうことが出来ました(2日めの午後は地場産業体験)。これは今のがん生諸君に力があるということで、学生諸君は自信にして欲しいと思います。

今年は何といっても服育に関する講話が印象深かったのではないかでしょうか。服育の専門家の方の話は、まさに目から鱗が落ちることばピッタリ。襟元をきっちり締めた方がしっかりした良い印象を与えるとは思いもよませんでした。新しい発見です。服装にも意味があるのです。

それから企画したわたしたちのヒットだと内心ほくそ笑んでいるのは「アルゴリズム体操」ですね。体をきみたちと一緒に動かし、楽しめました。学年全体でひとつのことを行うというのは意義があるし、思い出に残ることなのです。これから1年生諸君が5年間で成長していく姿を見守りたいと思います。

オリエンテーションを終えて

F3 黒田喬介

僕は、今回のオリエンテーションを通して、社会人としてのマナーと常識を多く学びました。例えば、携帯電話のマナーについてです。電車の中では、電源をオフにする意味を学ぶことができました。

ペースメーカーをつけている人は、電子機器に近くと、ペースメーカーが壊れたりするのでよくないのだそうです。僕は、毎日、電車で通学しているし、ケータイもあまり使ったことがありません。だから、そのような人に迷惑をかけないようにケータ

イのマナーをしっかりと心がけていきたいと思いました。

また、学年で宿泊することによって、多くの人々と交友を深めることができたと思います。仲の良い友達とはさらにお互いを知ることができ、初対面の人とも仲良くなることができました。このような意味では、とても密度の濃いオリエンテーションになり、とても満足しています。

今回のオリエンテーションは学ぶことも多く、大変でした。しかし、この経験によって自分は、また一步大人への階段をのぼることができたような気がします。

楽しかった合宿

F4 橋本芹菜

13、14日に新入生オリエンテーション合宿研修がありました。まだクラスメートの名前と顔が一致しない状態で、楽しみと不安の入り混じった気持ちの状態で参加しました。高専に入学した時、「しっかり友達をつくれるのだろうか」、「仲良くなれるのだろうか」など、不安だらけの自分ででしたが、この合宿を経てクラスのみんなと仲良くなれ不安な気持ちも少し安らぎました。講演会では、ためになる話ばかりでこれからの高専生活に役に立てていきたいと思いました。特に制服に関しての講演会を聞いて、高専の制服を着ることは、高専の看板を背負っていることだと改めて感じました。だから私たちが学校に来るときは制服をしっかりと着るべきだと思いました。また、この合宿を通して友達を作れたほか、友達とたくさん話せて、より友達のことが分かり嬉しかったし、本当に楽しかったです。また今、東日本大震災で日本は大変な状況の中、私たちは合宿に行けたことに感謝しなければならないと感じました。これからも先生や家族、その他の人たちに心から感謝し、これから高専生活を頑張りたいと思います。(『H.23年度F4のASHIATO』(4月号)より転載)

第47回体育祭

来年につながる体育祭

体育祭担当 学生主事補 西 仁 司

4月29日の昭和の日に第47回体育祭が開催されました。もとより雨天順延となりましたが、当日も午前のエール交換の終了間際から雨が降り出しました。降雨時間は15分間ほどでしたが、あまりの激しい雨にグラウンドが水浸しになり、その後の競技が大幅に削減、変更されるという、特殊な体育祭となりました。

より多くの学生の参加を促す目的で、工夫を凝らした競技が新しく用意されていましたが、残念ながらクラス対抗リレーと色別対抗リレーという2つの競技と、デコレ紹介、応援合戦のみの実施となってしまいました。

一方でデコレ紹介は、2つの舞台で5つの学科が連続して発表するという形態となりましたが、準備などでの大きな時間のロスもなく進行できました。応援合戦には、今回から課題が与えられました。どの色も、課題をクリアしつつ、工夫を凝らした見えたえのある応援だったと思います。ご協力いただいた多くの方々にお礼申し上げます。

本年度の反省を生かし、来年度も福井高専らしい体育祭が、「好天の下」で開催できるよう期待します。



「体育祭を終えて」

3E 畑 矢 弦 輝

何かの長になるというのはとても大変なことだ。さて、今回僕は体育委員を総括する体育長になったわけだが、この体育長の最大の仕事は体育祭の準備をすることだ。

僕が体育長を引き受けたのは体育祭の2ヶ月前…準備をするにしても気づいた頃には時間がなかつた。何か新しいことをしようとしても、時間がなく、中途半端に手をついてしまうと責任が取れなくなる状態で、頭を抱える日々が続いた。

当日の会場準備において、長である僕は人を動かす役のはずなのだが、僕はその役を上手く務めることができず、自ら動くことが多くなってしまった。

当日は雨が降ってしまい、多くの競技が雨に流されてしまった。しかし、先生方、学生会の皆様など、僕を支えてくださった多くの方々のおかげで、心に残る良い体育祭となった。皆様に心から感謝しています。



第47回体育祭

初 体 験

F5 山 本 悠 哉

高専生の体育祭に掛ける熱意や意気込みには、目を見張るものがある。各学科が協力し合いながら体育祭の成功を切に想い、準備をする姿を私は擬視していた。

そして体育祭本番へと月日は流れた。

圧倒的、圧倒的曇天だった。青空一つない曇り。そして、雨雲りの下で、第47回体育祭が始まった。私は黄組の応援団の一員で、アンニュイな開会式を過ませ、エール交換の準備に移った。各組の血湧き肉躍るyellを見、白組のレディーガガ顔負けのエールを行っている最中、遂に雨が降ってしまった。

その後は、一部の競技が中止になるも、体育祭は

続行された。デコレ紹介では、各学科の劇場を見た。入念に構成されたシナリオ、小道具、舞台は私も含め、その場に居た全ての観客を魅了した。このペースで体育祭の様子を書き綴ると規定の文字数を超えてしまうので、苦渋の判断で、割愛させて頂く。

私は高専の体育祭で、様々な初体験をした。雨で濡れながらの応援、裸足でのリレー。優勝発表前の昂揚感。そして、優勝後のハイな気分。どの体験も小、中学校では味わえなかった。はじめての体育祭を体験して、某CMの高専という選択は正しいと改めて痛感したのであった。

第47回体育祭成績一覧

種目	順位	1位	2位	3位	4位	5位
応 援		黄	赤	白	青	緑
工 一 ル		黄	白	赤	青	緑
デ コ レ		緑	黄	青	赤	白
競 技		黄	赤	緑	青	白
総 合		黄	赤	緑	青	白
		646	475	421	369	372

クラス対抗リレーコース順

	1年	2年	3年	4年	5年
1コース	青	緑	青	黄	黄
2コース	白	白	赤	赤	白
3コース	赤	青	白	白	緑
4コース	緑	赤	黄	青	赤
5コース	黄	黄	緑	緑	青

	1位	2位	3位	4位	5位
学年別 総合成績	1年	白	赤	黄	青
	2年	青	黄	緑	白
	3年	緑	赤	黄	青
	4年	黄	赤	青	白
	5年	赤	黄	青	白

キャンパスウォーク

キャンパスウォーク 2011

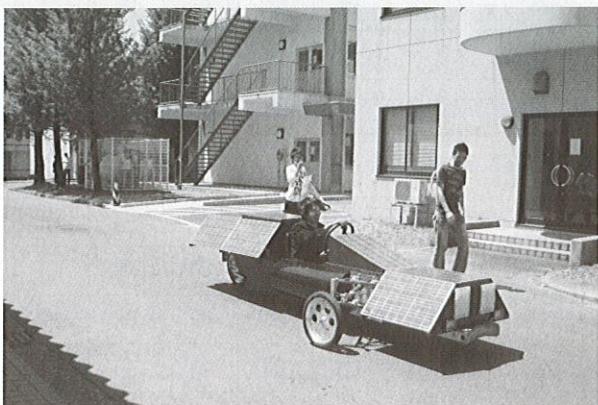
教務主事 上 島 晃 智

今年のオープンキャンパス第1弾、「キャンパスウォーク 2011」が連休のさなか5月7日（土）に、ここ福井高専のキャンパスを開放して行われました。

この催しは、中学生や保護者の方々に、福井高専という学校を広く知ってもらおうというのがその趣旨です。本校は、普通の高校とは違った専門的な教育を行うところですので、ちょっと変わった面白いところ、楽しいところ、びっくりするところなど、日常ではお目にかかれ難い色々な設備を持っています。そんな所を24か所選び、皆さんにスタンプラリー形式で見学してもらいました。「スタンプを集めて素敵な記念品をゲットしよう」というわけです。

当日のスペシャル企画、「校長先生と握手したら2ポイントゲット！」もあって、生徒400名、保護者の方が200余名においていただき、とても盛り上がった一日になりました。アンケートには「面白かった・ためになった、よくわかった」というようなありがたい感想を多くいただき、また、事故などもなく無事に終わることができましたので、教職員一同感謝申し上げると共にほっと胸をなでおろしております。

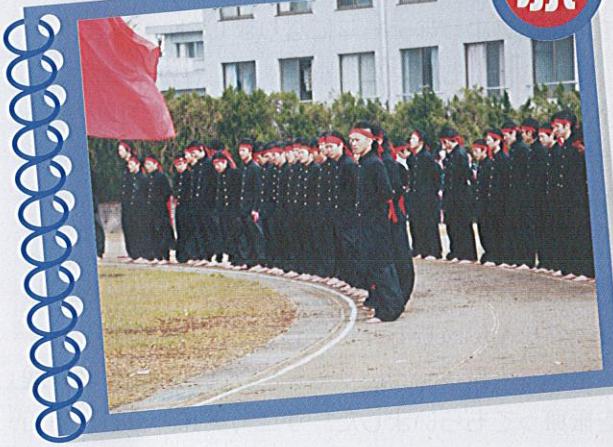
おいでいただいた皆さん、一人でも多く本校に興味を持っていただき、来春本校を目指していただけることを期待いたします。



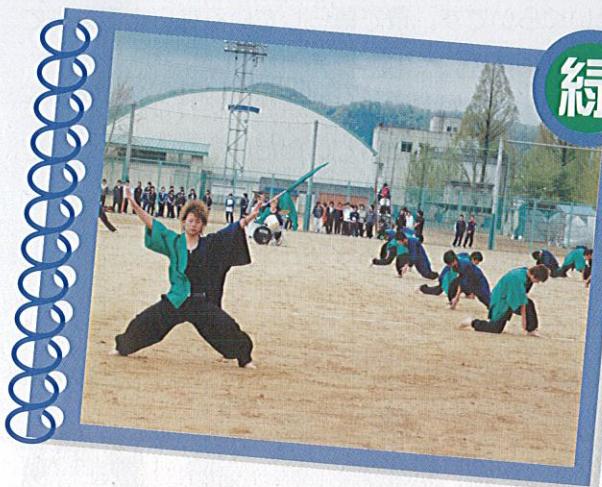
活躍する仲間

第47回 体育祭

赤



緑



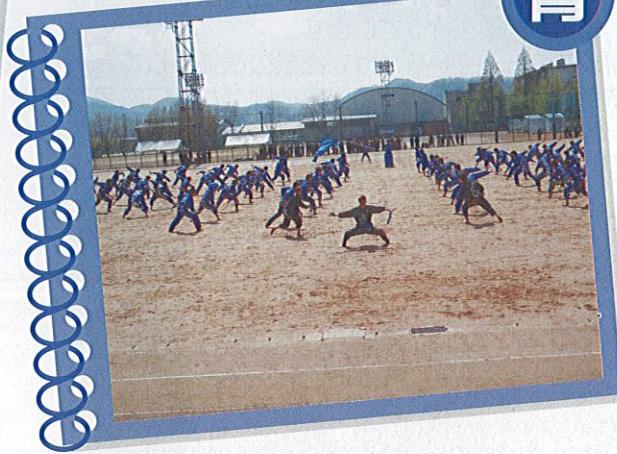
白



黄



青



活躍する仲間

寮 祭

寮祭を終えて

寮務主事 坪川武弘

5月13日(金)の前夜祭から14日(土)、15日(日)の本祭と3日間にわたり寮祭が開催されました。幸いこの3日間は天候にも恵まれ、20以上の催し物を楽しむことができました。寮生が日々利用している食堂がメインの会場となり、飾り付けられた特設ステージが設けられて、この期間だけは特別の空間となりました。

前夜祭の「焼き芋」「逃走中」から本祭の「宝探し」「Mr.美女!Ms.美男!!」……「晩餐会抽選会」「オークション」と多くの寮生が参加し、たいへん盛況でした。寮内の区毎の対抗企画もよく練っていました。寮の関係教職員、宿直の教員もいくつかの企画に参加しました。少し紹介します。「焼き芋」は焼き芋機を用いました。火が見えずちょっと寂しいのですが、焼き上がりはなかなかでした。留学生による企画では出身国のクイズや紹介に加えて手作りの郷土料理を振る舞ってもらいました。ちょっと辛みのあるマレーシア料理や乳白色のバングラディッシュのエビカレー、モンゴル風小籠包などおいしくいただきました。また、豪華景品が用意されたbingoゲームも各自数枚のカードを握りしめて熱気に包まれていました。当たる人は何回も当たるものだと妙に関心しました。

この時期の寮祭は新入寮生が寮生活に慣れてくるときに行われます。先輩寮生からの歓迎的な意味合いをもっています。また、各寮生にとっても日常を離れてお互いの違った面を見いだす機会でもあります。共同生活をしていく組織ではこのような企画はとても重要意味を持っています。

末尾ですが、時間をかけて寮祭の準備をしてきた寮生会の役員の皆さん、役員会の呼びかけに応えて早く運営に協力した寮生の皆さんに心から感謝いたします。



むらむらきむら

寮祭実行委員長 5E 村木俊介

今回の寮祭は「村村木村(むらむらきむら)祭」というテーマを元に5月中旬に行いました。この「むらむらきむら」とは、寮長である「村木」と、「木村」でこのようなテーマになりました。

今年の寮祭も様々な企画をすることができましたが、楽しんでいただけたでしょうか。その中でも焼き芋機による焼き芋、留学生交流企画は例年とは大きく違ったところでした。

焼き芋は例年とは違い、焼き芋機を利用してホクホクとした売り物と変わらないぐらいの完成度でした。なんといっても「タダ」ですからお徳。

留学生交流企画では、留学生が母国の紹介と料理を振舞ってもらいました。すごく美味しくて、参画していただいた方々にも大好評でした。留学生と交流する機会がなかなかない中で、留学生と交流できるすごくいい体験でした。

その他にも、様々な楽しい企画がたくさんありました。寮祭に来てない人は「損します」って言いたいぐらいです。寮で暮らしているなら1度は来てみてください。

最後に、今回の寮祭が問題なく終わることができたのも、寮祭に関係していただいた方々のおかげです。ありがとうございました。



活躍する仲間

平成23年度舞鶴高専交歓試合結果

平成23年5月22日(日) 実施

[福井高専会場]

◎剣道 福井高専 × 3/2 ————— 5/2 ○舞鶴高専

◎バドミントン

団体の部 福井高専 4 ————— 3 舞鶴高専
申し合わせ戦 福井高専 6 ————— 22 舞鶴高専

◎ハンドボール

第1試合 福井高専 28 [11 — 5] 19 舞鶴高専

第2試合 福井高専 26 [10 — 19] 32 舞鶴高専

◎サッカー

第1試合 福井高専A 4 ————— 2 舞鶴高専A
第2試合 福井高専B 0 ————— 0 舞鶴高専B

[舞鶴高専会場]

◎バスケットボール (男子)

第1試合 福井高専 69 [11 — 8] 65 舞鶴高専
[21 — 16]
[22 — 19]
[15 — 22]第2試合 (第3クオーターまで) 福井高専 46 [20 — 8] 39 舞鶴高専
[10 — 19]
[16 — 12]

◎バレーボール (女子)

福井高専 [25 — 5]
[25 — 3]
[25 — 6]
[25 — 15]
[25 — 22]
[25 — 14]
[26 — 24] 舞鶴高専

平成23年度福井県高等学校春季総合体育大会結果

平成23年6月3日(金)・4日(土)・5日(日) 実施

<< 団体の部 >>

◎卓球 (男子)

1回戦 福井高専 3 ————— 0 勝山高校
2回戦 福井高専 0 ————— 3 福井商業高校

◎卓球 (女子)

1回戦 福井高専 0 ————— 3 武生東高校

◎テニス (男子)

1回戦 福井高専 3 ————— 0 勝山高校
2回戦 福井高専 2 ————— 1 武生工業高校
3回戦 福井高専 1 ————— 2 藤島高校

◎剣道

1回戦 福井高専 0 ————— 2 三国高校

◎サッカー

1回戦 福井高専 5 ————— 0 敷賀工業高校
2回戦 福井高専 0 ————— 1 福井商業高校

◎バレーボール (男子)

予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 春江工業高校
予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 武生工業高校

◎バレーボール (女子)

予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 春江工業高校
予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 武生工業高校

◎ソフトボール

1回戦 福井高専 7 ————— 5 奥越明成高校
2回戦 福井高専 5 ————— 6 武生東高校

◎バスケットボール (男子)

1回戦 福井高専 62 ————— 51 鮎江高校
2回戦 福井高専 92 ————— 78 丸岡高校
2回戦 福井高専 65 ————— 93 若狭高校

<< 個人の部 >>

◎卓球 (男子)

シングルス 徳永 祐也 (3E) 1回戦
乘川 文尚 (3B) 1回戦
齋藤 謙平 (3C) 1回戦
澤田 宏人 (F2) 1回戦
井向 日向 (2B) 2回戦
山田 克樹 (F3) 2回戦
井上 智寛 (3EI) 2回戦
田中 健太郎 (3EI) 2回戦
戸田 泰智 (2B) 2回戦
本多 和樹 (3M) 3回戦
井関 泰士 (F1) 4回戦 ベスト32ダブルス 乘 川 (3B) ・ 井 向 (2B) 2回戦
井 関 (F1) ・ 澤 田 (F2) 3回戦
田 中 (3EI) ・ 齋 藤 (3C) 3回戦
戸 田 (2B) ・ 山 田 (F3) 4回戦 ベスト16

◎卓球 (女子)

シングルス 山形香央里 (3E) 1回戦
楠 優美子 (3EI) 1回戦
朝倉ななみ (2B) 1回戦
五十嵐春希 (F1) 1回戦
高田和佳菜 (F3) 1回戦
石黒稚可子 (F4) 1回戦
田中 詩織 (2C) 3回戦
南嶋 由枝 (F1) 3回戦ダブルス 楠 (3EI) ・ 山 形 (3E) 1回戦
石 黒 (F4) ・ 南 嶋 (F1) 1回戦
五十嵐 (F1) ・ 高 田 (F3) 1回戦
朝 倉 (2B) ・ 田 中 (2C) 4回戦 ベスト16

活躍する仲間

◎テニス(男子)

シングルス 佐飛 崇弥 (3EI) 4回戦
玉木 壱成 (3B) 4回戦
白崎 翔也 (3C) 3回戦
村田 和樹 (3C) 3回戦
上木 大輔 (3EI) 1回戦

ダブルス

佐 飛 (3EI) ・ 玉 木 (3B) 4回戦
片 野 (3M) ・ 小 林 (3EI) 2回戦
越 桐 (2C) ・ 長谷川裕 (2B) 2回戦
白 崎 (3C) ・ 森 (3C) 1回戦
村 田 (3C) ・ 上 木 (3EI) 1回戦

◎剣道(男子)

池田 光希 (3M) 3回戦 (3試合目)
井上 俊之 (3EI) 3回戦 (2試合目)
森長 剛志 (2EI) 2回戦 (緒戦)
桐生 竜柳 (F2) 1回戦 (緒戦)
三井 翔太 (F5) 2回戦 (緒戦)
杉本 卓哉 (F1) 3回戦 (2試合目)
友広 智 (F2) 2回戦 (緒戦)

◎剣道(女子)

藤本 未香 (F2) 1回戦 (緒戦)

◎陸上(男子)

100m	加藤隆之介 (F3) 13秒73
	伊吹 哉太 (2EI) 11秒93
	竹内 賀孝 (F5) 13秒05
200m	河内 直輝 (F1) 25秒42
1500m	三宅 潤 (F4) 26秒19
	玉村健太郎 (F1) 4分34秒99
5000m	中道 尚也 (F5) 4分56秒60
400mリレー	久島 停 (2C) 16分56秒34
	伊吹 哉太 (2EI) 河内 直輝 (F1) 48秒27
	角鹿 拓哉 (F2) 竹内 賀孝 (F5) 48秒27
砲丸投	前田 剛 (3E) 9m42
円盤投	大塚 隼平 (3E) 17m15
	前田 剛 (3E) 25m78

◎水泳(男子)

50m自由形	幸山 将大 (3M) 予選
100m平泳ぎ	松島 亨 (2B) 予選

平成23年度北陸地区高等学校専門学校体育大会結果

平成23年6月25日(土)・7月2日(土)・9日(土)・10日(日) 実施

<<団体の部>>

- ◎陸上総合成績 3位
- ◎男子ソフトテニス団体 4位
- ◎女子ソフトテニス団体(オーブン競技) 2位
- ◎男子テニス団体 2位
- ◎野球 2位
- ◎男子卓球団体 3位
- ◎女子卓球団体(オーブン競技) 2位

<<個人の部>>

- ◎陸上
 - 男子200m 伊吹 哉太 (2EI) 優勝
(全国高専体育大会出場)
 - 男子5000m 久島 停 (2C) 優勝
(全国高専体育大会出場)
 - 男子4×100mR 山岸 将之 (5C) 伊吹 哉太 (2EI)
河内 直輝 (F1) 宗沢 優也 (4E)
3位
 - 男子4×400mR 三宅 潤 (F4) 中道 尚也 (F5)
後藤 篤志 (4M) 玉村 尚文 (3E)
3位
 - 男子走高跳 山岸 将之 (5C) 優勝
(全国高専体育大会出場)
 - 女子走幅跳 中井 悠仁 (3B) 3位
- ◎男子バレーボール
優秀選手 矢納 正浩 (4EI)
- ◎女子バレーボール
優秀選手 福島 亜美 (5C)
- ◎女子ソフトテニス
個人 山下 茉莉 (F2) 前川 華歩 (F2)
優勝 (全国高専体育大会出場)
小川 瑞貴 (4B) 山本 恵夢 (4B)
3位
- ◎男子テニス
シングルス 小泉 勇樹 (5B) 優勝
(全国高専体育大会出場)
- ダブルス 小泉 勇樹 (5B) 石橋 一眞 (4M)
優勝 (全国高専体育大会出場)
- ◎男子卓球
ダブルス 安久 朋秀 (5M) 戸田 泰智 (2B)
2位

◎男子バドミントン団体 5位

- ◎女子バドミントン団体 2位
- ◎男子剣道団体 2位
- ◎女子剣道団体(オーブン競技) 2位
- ◎ハンドボール 4位
- ◎ラグビー(オーブン競技) 3位
- ◎サッカー 北信越大会 2位 (全国高専体育大会出場)

◎女子卓球

- | | |
|-------|-----------------------------|
| シングルス | 小山 友希 (5C) 2位 |
| ダブルス | 朝倉ななみ (2B) 3位 |
| | 小山 友希 (5C) 田中 詩織 (2C)
2位 |
| | 中出 有紀 (5C) 朝倉ななみ (2B)
3位 |

◎女子バドミントン

- | | |
|-------|-----------------------------|
| シングルス | 奈良本伽利 (3B) 2位 |
| ダブルス | 小椋 梨加 (3B) 奈良本伽利 (3B)
3位 |

◎水泳(男子)

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 50m自由形 | 幸山 将大 (3M) 優勝 |
| 400m自由形 | 田中 寛也 (3M) 3位 |
| 200m平泳ぎ | 村上 豪佑 (5B) 3位 |
| 100mバタフライ | 水野 弘基 (4E) 3位 |
| 100m背泳ぎ | 田中 造貴 (F2) 3位 |
| 400mリレー | 土田 啓介 (4M) 3位 |
| | 幸山 将大 (3M) 田中 寛也 (3M)
3位 |
| | 田中 造貴 (F2) 村上 豪佑 (5B)
3位 |
| 400mメドレーリレー | 土田 啓介 (4M) 田中 造貴 (F2)
2位 |
| | 田中 寛也 (3M) 幸山 将大 (3M)
2位 |

◎水泳(女子)

- | | |
|---------|---------------|
| 100m自由形 | 寺川 礼菜 (2B) 3位 |
| 100m平泳ぎ | 寺川 礼菜 (2B) 2位 |

◎男子剣道

- | | |
|--|-------------------------------|
| | 岸下 優介 (4E) 優勝
(全国高専体育大会出場) |
|--|-------------------------------|

◎女子剣道

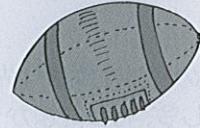
- | | |
|--|---------------|
| | 藤本 未香 (F2) 3位 |
|--|---------------|

活躍する仲間

アイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2011出場チーム

競技課題：『ロボ・ボウル (Robo Bowl)』

ロボット名	代表学生	クラス	指導教員
パラボラQ	長谷部 崇仁	4M	安丸 尚樹
投迅防	土田 啓介	4M	亀山建太郎



3. 11を意識してデザコンに臨む

環境都市工学科 吉田 雅穂

今年のデザコンは北海道釧路市。例年4月上旬にデザコンのウェブページが公開され、各競技のルギュレーションを知ることができるが、ここにも3.11の影響は及んでいた。4月中旬、予定通り開催されることを知り安堵する。3.11では、デザコン会場となる釧路市観光国際交流センターの周囲にも津波が押し寄せ、近くを流れる釧路川の幣舞橋には津波に流された遊漁船が衝突した。また、昨年のデザコン会場であった、青森県八戸市の公会堂近くを流れる馬淵川では、河口から10km上流まで津波が遡上した。このような震災の影響を受けるなか、関係各位のご努力により今年のデザコンが開催されることに心より感謝申し上げたい。

さて、今年のメインテーマは『ひらく』。北海道は本州からの移住者の「フロンティアスピリット」によって開拓された土地であり、開拓という2文字はともに「ひらく」と読むことができる。すなわち、先人達の知恵や努力によって築かれた豊かな生活を次の将来に受け渡すために、新しい発想によって様々なことに向かって「ひらく」ことを考えなければならない。震災前に作られたものだが、今の日本に必要な、斬新で挑戦的な提案を要求するテーマといえる。なお、各部門のテーマは、片持ち構造物の強度コンテスト（構造部門）、地場産材を用いたセ

ルフビルドハウス（環境部門）、地域に開かれたサテライトキャンパス（空間部門）、紙で作る楽器（ものづくり部門）となっている。

今年は全4部門に計9チーム、35名の学生がエンタリーしてきた。これに、1年生のものづくり科学で優秀な成績を収めた1チームが、構造部門の競技に加わる予定である。構造部門では、7月15日に第1回学内プレ予選、8月4日に第2回学内プレ予選、9月22日に学内最終予選を行い、予選上位2チームが福井高専チームとして本戦に出場することとなる。また、他の3部門は9月8日にプレゼンテーションポスターを提出し、予選通過を目指す。

昨年の福井高専チームは、環境部門で2年連続の予選通過を果たし本戦に出場した。また、構造部門では全52チーム中21位と49位の成績であった。今年の本戦は11月12日と13日。福井高専チームの選手への期待は、上位入賞を目指すことはもちろんであるが、震災で辛い思いをしている東日本の高専生と交流し、笑顔と元気を与えてくれることを是非ともお願いしたい。

活躍する仲間

バララット大学学生派遣報告

オーストラリアホームステイ

3M 山本 淳

初めての海外、周りは先輩だけ…、正直不安だった。しかし今、行ってよかったと心から思っている。

毎日の大学での授業。とても密度の濃い、有意義なものであった。日本では習わないようなさまざまなことも習った。気づけばいつしか、学生9人全員が自らノートを取り、わからないことは自ら質問するようになっていた。午後の観光はオーストラリアに来てからの緊張感をほぐしてくれて、日本とは違った独特の文化や、歴史に触れることができた。またホストファミリーと過ごした時間は本当に貴重なものだったと思う。毎日一緒に食事をして、ゲームをして、いろんな他愛もない話をして、休日には一緒に出掛けた。ただそれだけのことだがとても大切な時間だった。

最初のころは、相手の問いかけに答えるのがやつとだったが、2週間がたつ頃には、ほとんど英語をしゃべっているという感覚がなくなるくらい、英語に馴染んでいた。この短期間で得たものは非常に大きなものだった。日本で大きな地震が起り、行くのか行かないのか悩んだりもした。しかし、確信をした。来たことは間違いではなかったと。

ただ、2週間というのはあまりに短くて。すぐに別れの朝が来て。たった2週間だったが、ファミリーや先生は、まるで本当の家族のように慕ってくれた。言語も違う、文化も違う。それでもここまで分かり合い心を通わせ合うことができるとは。彼らはどこまでも優しくて。どこまでも親切で。泣くつもりはなかったんだけど…。「あなたは私たちの家族。いつでも帰ってこい」と。そして約束をした。いつになるかはわからないけど、「必ず、帰ってくる」と。

この短期研修で授業、観光、ホームステイなど様々な経験をし、その全てが初めてで、全てが素晴らしいもので、全てが有意義な掛け替えのないものであったことは言うまでもない。得たものは数えきれない。これらすべての思い出は何にも替え難い宝物になり、これからも忘れる事はないだろう。

そしてこれからも、私は英語を勉強し続けるだろう。帰った時、ちゃんと日本での話ができるように。心からありがとうの思いを伝えられるように。

We Are the World『世界は一つ』

引率指導教員 原 口 治

姉妹校であるバララット大学への派遣プログラムも今回で3回目となりました。限られた期間でしたが、英語クラスとホームステイを中心に、日系企業訪問や現地学生との文化交流会等、盛り沢山のプログラムでした。

吉田三郎派遣団団長の力強いリーダーシップのもと、派遣学生の積極性は最後まで持続しました。そのため、現地では、日本人同士でさえ英語で会話をしていたぐらいです。理想的な「英語漬け」の生活を学生達は堪能できたといえましょう。

プログラムの総仕上げとなる「フェアウェル（さよなら）パーティ」で、We Are the Worldを見事な英語で合唱した派遣学生達の姿は今でも新鮮に想い出されます。そんな彼らの真面目な姿勢に感動されたマグワイヤ（ジョン）先生が、涙とともにスピーチで学生全員を褒め称えたことも決して忘れられません。

帰国後、派遣学生達は「オーストラリアの香り」一杯に各クラスに戻って、クラスメート達に国際交流の重要性を、自らの体験を交えて伝えていくことでしょう。この先、英語学習等において、彼らの一層の研鑽を願い、大きく期待してやみません。

この報告を読んでいる学生の皆さん！、ぜひ次回のプログラムに参加しませんか？。広大なオーストラリアの地で生きた英語を学び、異文化体験をすることは今の皆さんだからこそ出来ることではないでしょうか。

末筆ながら、本プログラム実施において、奨学金支給等の多大なご尽力を下さった、池田校長先生を始め、吉村国際交流委員会委員長や教職員の皆様に心からの感謝を申し上げ、本報告の筆を置きます。



活躍する仲間・学園通信

バララット大学学生派遣報告会

とにかく英語で前に進むべし!

派遣団団長 吉田三郎

バララット大学での研修後、参加学生達には英語に対する態度に変化が見られ、英語同好会を作ってくれとまで言ってきました。そこで、「今回の報告はできるだけ英語でやってみないか?」と話を持ちかけたところ、特に逡巡もなく「じゃあやります!」という返答がすぐに返ってきました。この自信こそが今回の研修の最大の成果なのです。報告会のプレゼンの分担も、どの写真を使うかも最終的には学生が自分で決めるという、まさに高専生らしい自主的な取り組みでした。

しかし実際に発表原稿が出来上がってきたのは発表の前の週の金曜日で、「おーい、その直訳は英語としては通じないかもよー」とダメ出し。e-learning室での発表リハーサルは報告会の前日によく形になったのでした。それでも懲りずに、私が直した原稿を前夜に自ら加筆して堂々と発表した学生もいて、大変うれしく思いました。英語の間違いは増えても、教師に盲目的に依存しないその態度こそ重要です。英語は言いたいことがあると自然と使いたくなるもののように、彼らは磨けばもっと光るはずだと確信した次第です。



学園通信

平成23年度 校務分掌

○副校長・校長補佐

副校長(教務主事)	教授	上島晃智	(物質)
同(学生主事)	教授	藤田克志	(機械)
同(寮務主事)	教授	坪川武弘	(自然系)
同(企画室長)	教授	田中嘉津彦	(機械)
校長補佐(専攻科長)	教授	阿部孝弘	(環境)

○主事・主事補

教務主事	教授	上島晃智	(物質)
同主事補	教授	蘆田昇	(電情)
同	教授	津田良弘	(物質)
同	教授	吉田雅穂	(環境)
同	准教授	吉田三郎	(人文系)
学生主事	教授	藤田克志	(機械)
同主事補	助教	五味伸之	(機械)
同	准教授	荒川正和	(電気)
同	講師	西仁司	(電情)
同	准教授	高山勝己	(物質)
同	准教授	奥村充司	(環境)
同	准教授	原口治	(人文系)
寮務主事	教授	坪川武弘	(自然系)
同主事補	講師	千徳英介	(機械)
同	助教	石栗慎一	(電気)
同	助教	奥田篤士	(電情)
同	教授	常光幸美	(物質)
同	助教	田安正茂	(環境)
同	准教授	中谷実伸	(自然系)

○専攻科

科長	教授	阿部孝弘	(環境)
生産システム工学専攻主任	准教授	山本幸男	(電気)
環境システム工学専攻主任	准教授	辻野和彦	(環境)

○学科長(教室主任)・補佐

機械工学科長	教授	加藤寛敬
同学科長補佐	教授	藤田克志
電気電子工学科長	教授	川本昂
同学科長補佐	教授	前多信博
電子情報工学科長	教授	野村保之
同学科長補佐	教授	前川公男
物質工学科長	教授	津田良弘
同学科長補佐	教授	常光幸美
環境都市工学科長	教授	廣部英一
同学科長補佐	教授	山田幹雄

一般科目教室

自然科学系主任	教授	山本裕之
同主任補佐	教授	岡本拓夫
人文社会科学系主任	教授	廣重準四郎
同主任補佐	教授	荻野繁春

学園通信

○図書館

図書館長	教授	小寺光雄〔人文系〕
副図書館長	教授	吉村忠與志〔物質〕

○創造教育開発センター

センター長	教授	津田良弘〔物質〕
副センター長	教授	長水壽寛〔自然系〕
センター員	准教授	村中貴幸〔機械〕
同	准教授	丸山晃生〔電気〕
同	准教授	高久有一〔電情〕
同	准教授	加藤敏〔物質〕
同	助教	江本晃美〔環境〕
同	准教授	森芳周〔人文系〕

○総合情報処理センター

センター長	教授	蘆田昇〔電情〕
副センター長	准教授	中谷実伸〔自然系〕
センター員	助教	五味伸之〔機械〕
同	准教授	佐藤匡〔電気〕
同	助教	奥田篤士〔電情〕
同	准教授	平井恵子〔物質〕
同	助教	田安正茂〔環境〕
同		清水幹郎〔教支七〕
同		内藤岳史〔教支七〕
(事務情報化推進室長)		水上満雄

○地域連携テクノセンター

センター長	教授	山田幹雄〔環境〕
副センター長	教授	長水壽寛〔自然系〕
同	准教授	松井栄樹〔物質〕
地域・文化部門	部門長	准教授吉田三郎〔人文系〕
	副部門長	准教授荒川正和〔電気〕
環境・生態部門	部門長	准教授奥村充司〔環境〕
	副部門長	准教授高山勝己〔物質〕
エネルギー・原子力部門	部門長	准教授山本幸男〔電気〕
	副部門長	准教授芳賀正和〔機械〕
安全・防災部門	部門長	教授岡本拓夫〔自然系〕
	副部門長	教授吉田雅穂〔環境〕
情報・通信部門	部門長	准教授斉藤徹〔電情〕
	副部門長	准教授丸山晃生〔電気〕
素材・加工部門	部門長	教授常光幸美〔物質〕
	副部門長	准教授加藤敏〔物質〕
計測・制御部門	部門長	准教授亀山建太郎〔機械〕
	副部門長	講師西仁司〔電情〕

○教育研究支援センター

センター長	教授	前川公男〔電情〕
-------	----	----------

○学生相談室

室長	教授	朝倉相一〔自然系〕
相談員	教授	大久保茂〔電気〕
同	教授	吉村忠與志〔物質〕

○特別支援室

室長	教務主事	教授	上島晃智〔物質〕
副室長	学生相談室長	教授	朝倉相一〔自然系〕
室員	カウンセラー		清水照代
同	看護師		大西淑子

○学級担任・担任補佐

1年担任	F1担任	准教授	加藤清考〔自然系〕
	同補佐	教授	松尾光恭〔機械〕
	F2担任	講師	池田昌弘〔自然系〕
	同補佐	助教	石栗慎一〔電気〕
	F3担任	准教授	森芳周〔人文系〕
	同補佐	助教	奥田篤士〔電情〕
	F4担任	准教授	森貞〔人文系〕
	同補佐	講師	川村敏之〔物質〕
	F5担任	准教授	宮田一郎〔自然系〕
	同補佐	教授	山田幹雄〔環境〕
機械工学科	2年担任	准教授	大久保弦〔人文系〕
	同補佐	准教授	亀山建太郎〔機械〕
	3年担任	教授	安丸尚樹〔機械〕
	同補佐	教授	荻野繁春〔人文系〕
	4年担任	助教	金田直人〔機械〕
	同補佐	教授	藤田克志〔機械〕
	5年担任	准教授	村中貴幸〔機械〕
	同補佐	助教	五味伸之〔機械〕
	2年担任	講師	山田孝禎〔自然系〕
	同補佐	准教授	佐藤匡〔電気〕
電気電子工学科	3年担任	准教授	米田知晃〔電気〕
	同補佐	教授	坪川武弘〔自然系〕
	4年担任	講師	河原林友美〔電気〕
	同補佐	教授	前多信博〔電気〕
	5年担任	准教授	丸山晃生〔電気〕
	同補佐	教授	大久保茂〔電気〕
	2年担任	教授	岡本拓夫〔自然系〕
	同補佐	教授	野村保之〔電情〕
	3年担任	准教授	高久有一〔電情〕
	同補佐	准教授	吉田三郎〔人文系〕
電子情報工学科	4年担任	准教授	青山義弘〔電情〕
	同補佐	教授	蘆田昇〔電情〕
	5年担任	准教授	斉藤徹〔電情〕
	同補佐	教授	前川公男〔電情〕
	2年担任	講師	宮本友紀〔人文系〕
	同補佐	准教授	平井恵子〔物質〕
	3年担任	准教授	松井栄樹〔物質〕
	同補佐	准教授	柳原祐治〔自然系〕
	4年担任	教授	小泉貞之〔物質〕
	同補佐	教授	常光幸美〔物質〕
物質工学科	5年担任	准教授	西野純一〔物質〕
	同補佐	准教授	加藤敏〔物質〕
	2年担任	教授	小寺光雄〔人文系〕
	同補佐	准教授	奥村充司〔環境〕
	3年担任	准教授	辻子裕二〔環境〕
	同補佐	教授	長水壽寛〔自然系〕
	4年担任	助教	江本晃美〔環境〕
	同補佐	教授	吉田雅穂〔環境〕
	5年担任	教授	武井幸久〔環境〕
	同補佐	助教	田安正茂〔環境〕
環境都市工学科	2年担任	教授	吉田雅穂〔環境〕
	同補佐	教授	武井幸久〔環境〕
	3年担任	教授	田安正茂〔環境〕
	同補佐	助教	西野純一〔環境〕
	4年担任	助教	加藤敏〔環境〕
	同補佐	助教	辻子裕二〔環境〕
	5年担任	助教	小寺光雄〔人文系〕
	同補佐	助教	吉田雅穂〔環境〕
	2年担任	助教	奥村充司〔環境〕
	同補佐	助教	辻子裕二〔環境〕

学園通信

○学校運営会議

校長	校長	池田 大祐
副校長(教務主事)	教授	上島 晃智 [物質]
同(学生主事)	教授	藤田 克志 [機械]
同(寮務主事)	教授	坪川 武弘 [自然系]
同(企画室長)	教授	田中 嘉津彦 [機械]
校長補佐(専攻科長)	教授	阿部 孝弘 [環境]
機械工学科長	教授	加藤 寛敬
電気電子工学科長	教授	川本 昂
電子情報工学科長	教授	野村 保之
物質工学科長	教授	津田 良弘
環境都市工学科長	教授	廣部 英一

一般科目教室

(自然科学系)主任	教授	山本 裕之
(人文社会科学系)主任	教授	廣重 準四郎
事務部長		根本 直之

○学校運営連絡会

校長	校長	池田 大祐
副校長(教務主事)	教授	上島 晃智 [物質]
同(学生主事)	教授	藤田 克志 [機械]
同(寮務主事)	教授	坪川 武弘 [自然系]
同(企画室長)	教授	田中 嘉津彦 [機械]
校長補佐(専攻科長)	教授	阿部 孝弘 [環境]
事務部長		根本 直之
総務課長		鍛治 肇
学生課長		橘田 良一

○教員会議議長

議長	教授	常光 幸美 [物質]
同	准教授	奥村 充司 [環境]
同	准教授	大久保 弦 [人文系]

○企画室

室長	機械工学科	教授	田中 嘉津彦
室員	機械工学科	准教授	村中 貴幸
	電気電子工学科	准教授	佐藤 匠
	電子情報工学科	准教授	下條 雅史
	環境都市工学科	教授	山田 幹雄
一般科目教室(人文系)	准教授	吉田 三郎	
総務課長		鍛治 肇	

○施設整備委員会

委員長	企画室長	教授	田中 嘉津彦 [機械]
委員	機械工学科	教授	藤田 克志
	電気電子工学科	教授	大久保 茂
	電子情報工学科	教授	野村 保之
	物質工学科	助教	佐々和洋
	環境都市工学科	教授	吉田 雅穂
一般科目教室(自然系)	教授	山本 裕之	
同(人文系)	准教授	森 芳周	
事務部長		根本 直之	

○環境専門部会

企画室長	教授	田中 嘉津彦 [機械]
物質工学科	助教	佐々和洋
環境都市工学科	教授	吉田 雅穂
総務課長		鍛治 肇
学生課長		橘田 良一

○外部評価委員会

委員長	企画室長	教授	田中 嘉津彦 [機械]
委員	機械工学科長	教授	加藤 寛敬
	電気電子工学科長	教授	川本 昂
	電子情報工学科長	教授	野村 保之
	物質工学科長 創造教育開発センター長	教授	津田 良弘
	環境都市工学科長	教授	廣部 英一
(自然科学系)主任	教授	山本 裕之	
(人文社会科学系)主任	教授	廣重 準四郎	
図書館長	教授	小寺 光雄 [人文系]	
	総合情報処理センター長	教授	芦田 昇 [電情]
	地域連携テクノセンター長	教授	山田 幹雄 [環境]
	教育研究支援センター長	教授	前川 公男 [電情]
JABEE委員長 専攻科長	教授	阿部 孝弘 [環境]	
教務主事補	教授	吉田 雅穂 [環境]	
学生主事	教授	藤田 克志 [機械]	
寮務主事	教授	坪川 武弘 [自然系]	
総務課長		鍛治 肇	
学生課長		橘田 良一	

○自己点検・評価委員会

委員長	校長	池田 大祐
委員	副校長(教務主事)	教授 上島 晃智 [物質]
	同(学生主事)	教授 藤田 克志 [機械]
	同(寮務主事)	教授 坪川 武弘 [自然系]
	同(企画室長)	教授 田中 嘉津彦 [機械]
	校長補佐(専攻科長)	教授 阿部 孝弘 [環境]
	機械工学科長	教授 加藤 寛敬
	電気電子工学科長	教授 川本 昂
	電子情報工学科長	教授 野村 保之
	物質工学科長	教授 津田 良弘
	環境都市工学科長	教授 廣部 英一
(自然科学系)主任	教授 山本 裕之	
(人文社会科学系)主任	教授 廣重 準四郎	
図書館長	教授 小寺 光雄 [人文系]	
	総合情報処理センター長	教授 芦田 昇 [電情]
	地域連携テクノセンター長	教授 山田 幹雄 [環境]
	教育研究支援センター長	教授 前川 公男 [電情]
事務部長		根本 直之

学園通信

○教育システム評価委員会

委員長 委員	物質工学科長 教務委員会委員	教授	津田 良弘
補導委員会委員	准教授	奥村 充司	(環境)
学寮運営委員会委員	講師	池田 昌弘	(自然系)
専攻科委員会委員	准教授	芳賀 正和	(機械)
JABEE委員会委員	准教授	辻子 裕二	(環境)
創造教育開発センター員 進路指導委員会委員	准教授	村中 貴幸	(機械)
図書館運営委員会委員	准教授	米田 知晃	(電気)
総合情報処理センター運営委員会委員	准教授	平井 恵子	(物質)
施設整備委員会委員	助教	佐々和洋	(物質)
学生相談員	教授	朝倉 相一	(自然系)

○情報セキュリティ管理委員会

情報セキュリティ責任者

校長	校長	池田 大祐
情報セキュリティ副責任者		
教務主事	教授	上島 晃智 (物質)
事務部長		根本 直之

情報セキュリティ管理者

学生主事	教授	藤田 克志 (機械)
寮務主事	教授	坪川 武弘 (自然系)
企画室長	教授	田中 嘉津彦 (機械)
専攻科長	教授	阿部 孝弘 (環境)
機械工学科長	教授	加藤 寛敬
電気電子工学科長	教授	川本 昂
電子情報工学科長	教授	野村 保之
物質工学科長 創造教育開発センター長	教授	津田 良弘
環境都市工学科長 (自然科学系)主任	教授	廣部 英一
(人文社会科学系)主任	教授	山本 裕之
図書館長	教授	小寺 光雄 (人文系)
総合情報処理センター長	教授	蘆田 昇 (電情)
地域連携テクノセンター長	教授	山田 幹雄 (環境)
教育研究支援センター長	教授	前川 公男 (電情)
総務課長		鍛治 肇
学生課長		橘田 良一

情報セキュリティ推進責任者

総合情報処理センター長	教授	蘆田 昇 (電情)
情報セキュリティ推進副責任者		
総合情報処理副センター長	准教授	中谷 実伸 (自然系)

○JABEE委員会

委員長	専攻科長	教授	阿部 孝弘 (環境)
委員	教務主事	教授	上島 晃智 (物質)
	機械工学科	准教授	芳賀 正和
	電気電子工学科	准教授	山本 幸男
	電子情報工学科	准教授	下條 雅史
	物質工学科	准教授	高山 勝己
	環境都市工学科	准教授	辻子 裕二
	一般科目教室(自然系)	准教授	加藤 清考

○研究改善委員会

委員長	電気電子工学科	教授	大久保 茂
委員	教務主事	教授	上島 晃智 (物質)
	機械工学科	教授	安丸 尚樹
	電子情報工学科	准教授	青山 義弘
	物質工学科	准教授	松井 栄樹
	環境都市工学科	准教授	辻野 和彦
	一般科目教室(自然系)	講師	山田 孝禎
	同(人文系)	准教授	吉田 三郎

○専攻科委員会

委員長	専攻科長	教授	阿部 孝弘 (環境)
委員	生産システム工学専攻主任	准教授	山本 幸男 (電気)
	環境システム工学専攻主任	准教授	辻野 和彦 (環境)
	機械工学科	准教授	芳賀 正和
	電子情報工学科	准教授	下條 雅史
	物質工学科	講師	川村 敏之
	一般科目教室(自然系)	准教授	柳原 祐治
	同(人文系)	教授	前田 安信
	学生課長		橘田 良一

○教務委員会

委員長	教務主事	教授	上島 晃智 (物質)
委員	教務主事補	教授	蘆田 昇 (電情)
	同	教授	吉田 雅穂 (環境)
	同	准教授	吉田 三郎 (人文系)
	機械工学科長	教授	加藤 寛敬
	電気電子工学科長	教授	川本 昂
	電子情報工学科長	教授	野村 保之
	物質工学科長	教授	津田 良弘
	環境都市工学科長 (自然科学系)主任	教授	廣部 英一
	(人文社会科学系)主任	教授	山本 裕之
	図書館長	教授	小寺 光雄 (人文系)
	総合情報処理センター長	教授	蘆田 昇 (電情)
	地域連携テクノセンター長	教授	山田 幹雄 (環境)
	教育研究支援センター長	教授	前川 公男 (電情)
	総務課長		鍛治 肇
	学生課長		橘田 良一

○情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進責任者

委員長、総合情報処理センター長	教授	蘆田 昇 (電情)
-----------------	----	-----------

情報セキュリティ推進副責任者

総合情報処理副センター長	准教授	中谷 実伸 (自然系)
--------------	-----	-------------

情報セキュリティ推進委員

総合情報処理センター員	助教	五味 伸之 (機械)
総合情報処理センター員	准教授	佐藤 匡 (電気)
総合情報処理センター員	助教	奥田 篤士 (電情)
総合情報処理センター員	准教授	平井 恵子 (物質)
総合情報処理センター員	助教	田安 正茂 (環境)
総合情報処理センター員		清水 幹郎 (教支セ)
総合情報処理センター員		内藤 岳史 (教支セ)
総合情報処理センター員		水上 滿雄

学園通信

○留学生委員会

委員長	教務主事	教授	上島 晃智	[物質]
委員	留学生主任	准教授	吉田 三郎	(人文系)
	学生主事	教授	藤田 克志	[機械]
	寮務主事	教授	坪川 武弘	[自然系]
	留学生指導教員	教授	安丸 尚樹	[機械]
	同	准教授	村中 貴幸	[機械]
	同	助教	金田 直人	[機械]
	同	講師	河原林 友美	[電気]
	同	准教授	斎藤 徹	[電情]
	同	教授	小泉 貞之	[物質]
	同	准教授	松井 栄樹	[物質]
	同	准教授	西野 純一	[物質]
	学生課長		橘田 良一	

○国際交流委員会

委員長	物質工学科	教授	吉村 忠與志	
副委員長	一般科目教室(人文系)	准教授	吉田 三郎	
委員	機械工学科	教授	安丸 尚樹	
	電気電子工学科	准教授	山本 幸男	
	電気電子工学科	助教	石栗 慎一	
	電子情報工学科	准教授	青山 義弘	
	物質工学科	教授	常光 幸美	
	環境都市工学科	准教授	辻野 和彦	
	一般科目教室(自然系)	教授	坪川 武弘	
	(人文系)	講師	宮本 友紀	

○学寮運営委員会

委員長	寮務主事	教授	坪川 武弘	[自然系]
委員	学生主事	教授	藤田 克志	[機械]
	機械工学科	准教授	亀山 建太郎	
	電気電子工学科	助教	石栗 慎一	
	電子情報工学科	准教授	下條 雅史	
	物質工学科	助教	佐々和洋	
	環境都市工学科	教授	吉田 雅穂	
	一般科目教室(自然系)	講師	池田 昌弘	
	(人文系)	准教授	中村 吉秀	
	学生課長		橘田 良一	

○入学試験委員会

委員長	教務主事	教授	上島 晃智	[物質]
委員	教務主事補	教授	蘆田 昇	[電情]
	同	教授	津田 良弘	[物質]
	同	教授	吉田 雅穂	[環境]
	同	准教授	吉田 三郎	(人文系)
	機械工学科長	教授	加藤 寛敬	
	電気電子工学科長	教授	川本 昂	
	電子情報工学科長	教授	野村 保之	
	物質工学科長	教授	津田 良弘	
	環境都市工学科長	教授	廣部 英一	
	(自然科学系)主任	教授	山本 裕之	
	(人文社会科学系)主任	教授	廣重 準四郎	
	事務部長		根本 直之	

○補導委員会

委員長	学生主事	教授	藤田 克志	[機械]
委員	寮務主事	教授	坪川 武弘	[自然系]
	学生主事補	助教	五味 伸之	[機械]
	同	准教授	荒川 正和	[電気]
	同	講師	西仁司	[電情]
	同	准教授	高山勝己	[物質]
	同	准教授	奥村 充司	[環境]
	同	准教授	原口 治	(人文系)
1年担任	F1担任	准教授	加藤 清考	[自然系]
	F2担任	講師	池田 昌弘	[自然系]
	F3担任	准教授	森 芳周	(人文系)
	F4担任	准教授	森 貞	(人文系)
	F5担任	准教授	宮田 一郎	[自然系]
機械工学科	2年担任	准教授	大久保 弦	(人文系)
	3年担任	教授	安丸 尚樹	[機械]
	4年担任	助教	金田 直人	[機械]
	5年担任	准教授	村中 貴幸	[機械]
	2年担任	講師	山田 孝徳	[自然系]
電気電子工学科	3年担任	准教授	米田 知晃	[電気]
	4年担任	講師	河原林 友美	[電気]
	5年担任	准教授	丸山 晃生	[電気]
	2年担任	教授	岡本 拓夫	[自然系]
	3年担任	准教授	高久 有一	[電情]
電子情報工学科	4年担任	准教授	青山 義弘	[電情]
	5年担任	准教授	斎藤 徹	[電情]
	2年担任	講師	宮本 友紀	(人文系)
	3年担任	准教授	松井 栄樹	[物質]
	4年担任	教授	小泉 貞之	[物質]
環境都市工学科	5年担任	准教授	西野 純一	[物質]
	2年担任	教授	小寺 光雄	(人文系)
	3年担任	准教授	辻子 裕二	[環境]
	4年担任	助教	江本 晃美	[環境]
	5年担任	教授	武井 幸久	[環境]
	学生課長		橘田 良一	

○研究紀要委員会

委員長	一般科目教室(人文系)	教授	廣重 準四郎	
委員	機械工学科	助教	五味 伸之	
	電気電子工学科	准教授	佐藤 匠	
	電子情報工学科	教授	野村 保之	
	物質工学科	講師	川村 敏之	
	環境都市工学科	准教授	辻野 和彦	
	一般科目教室(自然系)	准教授	加藤 清考	

○公開講座委員会

委員長	企画室長	教授	田中 嘉津彦	[機械]
委員	機械工学科長	教授	加藤 寛敬	
	電気電子工学科長	教授	川本 昂	
	電子情報工学科長	教授	野村 保之	
	物質工学科長	教授	津田 良弘	
	環境都市工学科長	教授	廣部 英一	
	(自然科学系)主任	教授	山本 裕之	
	(人文社会科学系)主任	教授	廣重 準四郎	
	総務課長		鍛治 肇	

学園通信

○進路指導委員会

委員長	物質工学科(物質工学科4年学級担任)	教授	小泉貞之
副委員長	電気電子工学科	教授	大久保茂
委員 教務主事	教授	上島晃智(物質)	
学生主事	教授	藤田克志(機械)	
専攻科長	教授	阿部孝弘(環境)	
機械工学科長	教授	加藤寛敬	
電気電子工学科長	教授	川本昂	
電子情報工学科長	教授	野村保之	
物質工学科長	教授	津田良弘	
環境都市工学科長	教授	廣部英一	
(自然科学系)主任	教授	山本裕之	
(人文社会学科系)主任	教授	廣重準四郎	
	生産システム工学科専攻主任	准教授	山本幸男(電気)
	環境システム工学科専攻主任	准教授	辻野和彦(環境)
	専攻科委員	准教授	芳賀正和(機械)
	同	准教授	下條雅史(電情)
	同	講師	川村敏之(物質)
	同	准教授	柳原祐治(自然系)
	同	教授	前田安信(人文系)
1年担任	F1学級担任	准教授	加藤清考(自然系)
	F2学級担任	講師	池田昌弘(自然系)
	F3学級担任	准教授	森芳周(人文系)
	F4学級担任	准教授	森貞(人文系)
	F5学級担任	准教授	宮田一郎(自然系)
機械工学科	2年学級担任	准教授	大久保弦(人文系)
	3年学級担任	教授	安丸尚樹(機械)
	4年学級担任	助教	金田直人(機械)
	5年学級担任	准教授	村中貴幸(機械)
電気電子工学科	2年学級担任	講師	山田孝頌(自然系)
	3年学級担任	准教授	米田知晃(電気)
	4年学級担任	講師	河原林友美(電気)
	5年学級担任	准教授	丸山晃生(電気)
電子情報工学科	2年学級担任	教授	岡本拓夫(自然系)
	3年学級担任	准教授	高久有一(電情)
	4年学級担任	准教授	青山義弘(電情)
	5年学級担任	准教授	斎藤徹(電情)
物質工学科	2年学級担任	講師	宮本友紀(人文系)
	3年学級担任	准教授	松井栄樹(物質)
	5年学級担任	准教授	西野純一(物質)
環境都市工学科	2年学級担任	教授	小寺光雄(人文系)
	3年学級担任	准教授	辻子裕二(環境)
	4年学級担任	助教	江本晃美(環境)
	5年学級担任	教授	武井幸久(環境)
	学生課長		橘田良一

○知的財産教育委員会

委員長	地域連携テクノセンター長	教授	山田幹雄(環境)
委員 教育研究支援センター長	教授	前川公男(電情)	
専攻科委員 電気電子工学科	准教授	山本幸男(電気)	
機械工学科	教授	松尾光恭	
電子情報工学科	教授	蘆田昇	
物質工学科	准教授	高山勝己	
環境都市工学科	教授	廣部英一	
一般科目教室(自然系)	教授	岡本拓夫	
同(人文系)	教授	廣重準四郎	
総務課長		鍛治肇	

○遺伝子組換え実験安全委員会

委員長	安全主任者	教授	津田良弘(物質)
委員 実験責任者	教授	上島晃智(物質)	
同	准教授	高山勝己(物質)	
同	講師	川村敏之(物質)	
機械工学科	教授	加藤寛敬	
電気電子工学科	教授	前多信博	
環境都市工学科	准教授	奥村充司	
一般科目教室(自然系)	教授	朝倉相一	
地域連携テクノセンター長	教授	山田幹雄(環境)	
教育研究支援センター長	教授	前川公男(電情)	
総務課長		鍛治肇	

○図書館運営委員会

委員長	図書館長	教授	小寺光雄(人文系)
委員 副図書館長	教授	吉村忠與志(物質)	
機械工学科	教授	安丸尚樹	
電気電子工学科	准教授	米田知晃	
電子情報工学科	准教授	下條雅史	
環境都市工学科	助教	田安正茂	
一般科目教室(自然系)	准教授	宮田一郎	
事務部長		根本直之	
学生課長		橘田良一	

○総合情報処理センター運営委員会

委員長	センター長	教授	蘆田昇(電情)
委員 副センター長	准教授	中谷実伸(自然系)	
教務主事	教授	上島晃智(物質)	
図書館長	教授	小寺光雄(人文系)	
機械工学科	准教授	芳賀正和	
電気電子工学科	准教授	丸山晃生	
電子情報工学科	助教	奥田篤士	
物質工学科	准教授	平井恵子	
環境都市工学科	教授	阿部孝弘	
事務部長		根本直之	

学園通信

○ネットワーク委員会

委員長	総合情報処理センター長	教授	蘆田 昇 [電 情]
委員	副総合情報処理センター長 支線管理者(一般教育棟)	准教授	中谷 実伸 [自然系]
	教務主事	教授	上島 晃智 [物 質]
	図書館長	教授	小寺 光雄 [人文系]
	支線管理者(機械工学科棟)	准教授	亀山 建太郎 [機 械]
	同(電気電子工学科棟)	講 師	河原林 友美 [電 気]
	同(電子情報工学科棟)	准教授	斎藤 徹 [電 情]
	同(物質工学科棟)	助 教	佐々和洋 [物 質]
	同(環境都市工学科棟)	助 教	田安 正茂 [環 境]
	同(専攻科、学寮)	助 教	奥田 篤士 [電 情]
	同(地域連携テクノセンター)	教 授	山田 幹雄 [環 境]
	(管理棟及び図書館棟)		水上 滿雄
	総合情報処理センター員	助 教	五味 伸之 [機 械]
	同	准教授	佐藤 匠 [電 気]
	同	准教授	平井 恵子 [物 質]
	同		清水 幹郎 [教支七]
	同		内藤 岳史 [教支七]
	学生課長		橘田 良一

○地域連携テクノセンター運営委員会

委員長	センター長	教 授	山田 幹雄 [環 境]
委員	副センター長	教 授	長水 壽寛 [自然系]
同	准教授	松井 栄樹 [物 質]	
	教育研究支援センター長	教 授	前川 公男 [電 情]
	地域・文化部門長	准教授	吉田 三郎 [人文系]
	環境・生態部門長	准教授	奥村 充司 [環 境]
	材料・原子力部門長	准教授	山本 幸男 [電 気]
	安全・防災部門長	教 授	岡本 拓夫 [自然系]
	情報・通信部門長	准教授	斎藤 徹 [電 情]
	素材・加工部門長	教 授	常光 幸美 [物 質]
	計測・制御部門長	准教授	亀山 建太郎 [機 械]

○教育研究支援センター運営委員会

委員長	センター長	教 授	前川 公男 [電 情]
委員	機械工学科	教 授	加藤 寛敬
	電気電子工学科	教 授	大久保 茂
	物質工学科	教 授	常光 幸美
	環境都市工学科	教 授	阿部 孝弘
	一般科目教室(自然系)	教 授	山本 裕之
	同(人文系)	教 授	荻野 繁春
	総合情報処理センター長	教 授	蘆田 昇 [電 情]
	地域連携テクノセンター長	教 授	山田 幹雄 [環 境]
	技術長 第二技術班長		齋藤 弘一
	第一技術班長	技術専門職員	木村 操
	第三技術班長	技術専門職員	坪川 茂

○創造教育開発センター運営委員会

委員長	センター長	教 授	津田 良弘 [物 質]
委員	副センター長	教 授	長水 壽寛 [自然系]
	教務主事	教 授	上島 晃智 [物 質]
	専攻科長	教 授	阿部 孝弘 [環 境]

○広報委員会

委員長	教務主事	教 授	上島 晃智 [物 質]
委員	企画室長	教 授	田中 嘉津彦 [機 械]
	学生主事	教 授	藤田 克志 [機 械]
	寮務主事	教 授	坪川 武弘 [自然系]
	図書館長	教 授	小寺 光雄 [人文系]
	総合情報処理センター長	教 授	蘆田 昇 [電 情]
	地域連携テクノセンター長	教 授	山田 幹雄 [環 境]
	准教授		中谷 実伸 [自然系]
	総務課長		鍛治 肇
	学生課長		橘田 良一

○校友会誌編集委員会

委員長	図書館長	教 授	小寺 光雄 [人文系]
委員	学生主事	教 授	藤田 克志 [機 械]
	機械工学科	講 師	千徳 英介
	電気電子工学科	教 授	前多 信博
	電子情報工学科	准教授	斎藤 徹
	物質工学科	准教授	加藤 敏
	環境都市工学科	助 教	江本 晃美
	一般科目教室(自然系)	教 授	長水 壽寛
	一般科目教室(人文系)	教 授	前田 安信

○青武台だより編集委員会

委員長	学生主事	教 授	藤田 克志 [機 械]
委員	学生主事補	准教授	荒川 正和 [電 気]
同		講 師	西仁 司 [電 情]
同		准教授	原口 治 [人文系]
	機械工学科	教 授	松尾 光恭
	物質工学科	准教授	平井 恵子
	環境都市工学科	教 授	武井 幸久
	一般科目教室(自然系)	講 師	山田 孝禎
	一般科目教室(人文系)	教 授	荻野 繁春
	学生課長		橘田 良一

学園通信

○法人サービス推進委員会

委員長	企画室長	教 授	田 中 嘉津彦	[機 械]
委員	学生主事	教 授	藤 田 克 志	[機 械]
	寮務主事	教 授	坪 川 武 弘	[自然系]
	図書館長	教 授	小 寺 光 雄	[人文系]
	事務部長		根 本 直 之	
	総務課長		鍛 治 肇	
	学生課長		橘 田 良 一	

○防災対策委員会

委員長	防災管理者	事務部長	根 本 直 之
委員	副校長(教務主事)	教 授	上 島 晃 智
	(同)(学生主事)	教 授	藤 田 克 志
	(同)(寮務主事)	教 授	坪 川 武 弘
	(同)(企画室長)	教 授	田 中 嘉津彦
	校長補佐(専攻科長)	教 授	阿 部 孝 弘
	機械工学科長	教 授	加 藤 寛 敬
	電気電子工学科長	教 授	川 本 昂
	電子情報工学科長	教 授	野 村 保 之
	物質工学科長	教 授	津 田 良 弘
	環境都市工学科長	教 授	廣 部 英 一
	(自然科学系)主任	教 授	山 本 裕 之
	(人文社会科学系)主任	教 授	廣 重 準四郎
	総務課長		鍛 治 肇
	学生課長		橘 田 良 一

○安全衛生委員会

委員長	教務主事	教 授	上 島 晃 智	[物 質]
委員	衛生管理者	看護師	大 西 淑 子	(学生課)
	安全管理者(総務課長)		鍛 治 肇	
	産業医(野尻医院院長)		野 尻 裕 之	
	放射線取扱主任者	教 授	前 多 信 博	[電 気]
	特別管理産業廃棄物管理責任者	教 授	津 田 良 弘	[物 質]
	衛生に関し経験を有する者	准教授	高 山 勝 己	[物 質]
	同		片 岡 裕 一	[教支セ]
	安全に関し経験を有する者	准教授	亀 山 建太郎	[機 械]
	同	助 教	田 安 正 茂	[環 境]
	同	教 授	岡 本 拓 夫	[自然系]

○教職員厚生委員会

委員長	物質工学科	教 授	小 泉 貞 之
委員	機械工学科	助 教	五 味 伸 之
	電気電子工学科	教 授	大久保 茂
	電子情報工学科	准教授	青山 義 弘
	環境都市工学科	准教授	辻 野 和 彦
	一般科目教室(人文系)	准教授	吉 田 三 郎
[幹事]	総務課		山 根 啓二郎
	学生課		水 上 満 雄
	教育研究支援センター		木 村 操
	女子職員		武 藤 香 子
[幹事]	総務課人事労務係長		亀 江 高 志
	総務課財務係長		入 澤 啓 文

○事務情報化委員会

委員長	事務部長	根 本 直 之
委員	総務課長	鍛 治 肇
	学生課長	橘 田 良 一
	事務情報化推進室長	水 上 満 雄
	同室員	林 綾 子

○ハラスメント相談員

教職員相談員

	教務主事	教 授	上 島 晃 智	[物 質]
	物質工学科	准教授	平 井 恵 子	
	総務課長		鍛 治 肇	
	総務課総務係		中 出 智 美	

学生相談員

	学生相談室長	教 授	朝 倉 相 一	[自然系]
	学生相談員	教 授	大久保 茂	[電 気]
	同	教 授	吉 村 忠 與 志	[物 質]
	各学級担任			

平成23年度 部・同好会指導教員・代表者

部門	部・同好会	指導教員	代表者クラス氏名
体育部門	陸上	蘆田 昇 東 章弘 村田 知也	3E 前田 剛
	卓球	青山 義弘 高久 有一	3EI 田中健太郎
	バスケットボール(男子)	山田 孝穎 米田 知晃 阿部 孝弘	5M 木村 大生
	バスケットボール(女子)	江本 晃美 荻野 繁春 米田 知晃	4C 坪田果菜子
	ラグビー	吉田 雅穂	5B 田中 貴拓
	サッカー	長水 壽寛 佐々 和洋	5E 藤堂 隼
	野球	奥村 充司 辻野 和彦 加藤 清考	5E 永井 雅浩 3EI 青池 啓太
	バレーボール(男子)	朝倉 相一 村田 知也	4EI 矢納 正浩
	バレーボール(女子)	山本 裕之 金田 直人 坪川 武弘	5C 谷川 愛実
	バドミントン	斎藤 徹 西野 純一 上島 晃智	4E 山田 和希
	テニス	島田 茂 奥田 篤士 吉田 三郎	4M 石橋 一眞
	ソフトテニス	森 芳周 下條 雅史	4EI 斎藤 史剛
	柔道	宮田 一郎	5B 橋本 大知
	剣道	中谷 実伸 丸山 晃生	4E 齊藤 繁宣
	ハンドボール	川村 敏之 芳賀 正和 安丸 尚樹	5E 伏里 直樹
	空手	村中 貴幸 江本 晃美 池田 昌弘 辻子 裕二	4C 竹内 渉
	ソフトボール	田安 正茂	3M 稲場 優斗
	少林寺拳法	岡本 拓夫	5EI 阪井 祐太
	水泳	加藤 敏 西 仁司	5B 村上 豪佑
	合気道	松井 栄樹	4EI 大八木 晋
	軟式野球	田安 正茂	4C 森本 康介

部門	部・同好会	指導教員	代表者クラス氏名
文化部門	英語	吉田 三郎 原口 治	3C 浦田ゆきお
	モダンミュージック	森 貞	4E 久保田崇仁
	吹奏楽	荒川 正和 岡本 拓夫	4C 中野あり紗
	写真	吉田 三郎	5B 福岡 悠
	エレクトロメーリング	前多 信博 河原林友美	4M 長谷部崇仁
	囲碁・将棋	原口 治	4C 竹内 渉
	口ボット	亀山建太郎 斎藤 徹 森 芳周	4M 土田 啓介
	天文	岡本 拓夫	4C 竹内 渉
	茶道	平井 恵子	4M 野尻紗也香
	フィッシング	吉村忠與志	F4 高橋 青波
	アコースティック	荻野 繁春	4M 高見瑚太郎
	ソーラーカー	川本 昂 石栗 慎一	4E 奥田 康隆
	IT研究会プロフォ	西 仁司 蘆田 昇	4EI 多田 一貴
	日本現代視覚文化	岡本 拓夫	4EI 大八木 晋
	M.M.M.研究会	長水 壽寛 坪川 武弘 中谷 実伸	4E 前田 佳樹
	合唱	森 貞	5E 宮腰 悠平
	VIP	高山 勝己	3C 松浦さゆり
	デザイン研究会	江本 晃美 辻野 和彦	5B 永宮 睿久
	クイズ研究会	吉田 三郎	3EI 田本 達也
	ラジコン	加藤 清考	4M 大橋 望
	演劇	荻野 繁春	3C 松浦さゆり
	サイエンスクラブ	加藤 清考 池田 昌弘 五味 伸之	4M 大橋 望
	ゲームクリエイター	坪川 武弘 石栗 慎一	3E 山根 克明
	航空研究会	高久 有一	3EI 井上 俊之
	フットサル同好会	荻野 繁春 五味 伸之 坪川 武弘	3E 金森 彰孝

学園通信

学生会活動について

復興への一歩

学生会長 4C 西山悟史

募金活動の話があがつたのは春休みに入つて間もない時であった。大震災の目を被う惨状をテレビのニュースで見た時のあまりの驚きから、何かできないかと思っており、またそれは学生会役員も同じだったようで話はすぐにまとまり、早速募金活動を行つた。春休み中であったこともあり、鯖江駅周辺で行つた。

一方で私はオーストラリアに渡つておらず、そこで日本のニュースを見た。遠く離れた土地のテレビから東日本大震災を伝えるニュースが流れていたのである。私はまた驚いた。その事実は勿論であるが、日本の力、技術をもつてすれば、復興は難しくない、とニュースで言われていたことに何より驚かされ、そして改めてここで手を取り合うことの大切さを感じた。その形はどうであれ少しでも、私達がその力にならなければと思った。

帰国後、校内、駅周辺での活動を行い、結果として25,485円集めることができた。小額ではあるが、雨の中にも関わらず、小さな子供や高校生の方が募

金をしてくれたりとその金額以上の気持ちがそれには含まれている。

学生会として一生懸命取り組むことができ、大変意義のある活動となつたと確信している。

被災された方々に私達の想いが届くことを祈るばかりだ。

平成23年度学生会役員

学生会長	西山 悟史 (4C)
副会長	真柄 亮兵 (4C) 芹川由布子 (4B)
高専祭 実行委員長	田中 大樹 (4E)
体育長	畠矢 弦輝 (3E)
会計長	山本 尚 (4C)
文化長	竹下智都美 (3C)
厚生長	寺尾 静佳 (3B)
広報長	杉田 有紀 (4B)
書記	藤井 祥太 (4M) 福田 和正 (4M)
議長	大橋 裕介 (5M)
副議長	田中 祐介 (5E)
庶務	山崎 有紗 (4C)
会計監査	福島 亜美 (5C) 谷川 愛実 (5C) 竹内 慶行 (5C)

本校に着任して



リターンズ

機械工学科

松尾光恭

1970年に本校の第一期生として卒業以来40年ぶりに戻ってきました。もっともこれまで同窓会や非常勤講師など何らかの用事で本校との関わりはありました。学生時代のように本校が文字通り生活の場になるのは40年ぶりのことです。この間、福井県工業技術センターで県内企業の技術開発支援で、工作機械技術、マイクロ加工技術の研究開発に携わってきました。昨年3月末60歳で定年退職し、今年3月末までは鯖江商工会議所ものづくり支援機構で市内中小企業の新製品開発の支援を行っていました。今回縁あって、わが母校の教員として勤務す

ることになりました。さて着任して3ヶ月が経ち、教員としての生活にも多少は慣れてきたところです。時折構内を歩いていると、往時を偲ばせるところもあり懐かしい思いがします。昨年3月には本館の全面改修がなされたようすばらしい教育環境になっていましたが、基本的造りは40年前と同じようで、何となく目を瞑つても歩けそうな気もしました。最後に、教えられる立場から教える立場になって思うことですが、学生時代にはさっぱり理解できなかつたことが、長年の実務の中で理解できたことがあります。理解できないことをいくらたくさん知っていても役に立たない。この経験を学生たちに教えることができたらなと思っています。これが今の私の抱負です。新任とはいえ余命2年の新米教師ですがよろしくお願ひいたします。わが母校への恩返しのつもりでがんばります。



変化は考えるチャンス

機械工学科

千徳英介

3ヶ月が経ち、整頓されていた教員室もだいぶ乱雑になってきました。一方で、学生達の顔と名前が徐々に一致するようになり、学生への接し方も自然なものになったように感じています。高専の授業は創成科目や学際的な科目など学生に刺激を与え自主的に考えさせるものが多く、その充実した内容に大変驚き、学生の姿を見ながら私の学生時代にもこんな授業があったらなあと心から羨ましく思っています。

福井高専に着任したことは、私にとって大きな変化でした。これまでとは働く環境も求められる仕事も変わり、これまで考えたことがないことをたくさん考えることができました。哲学者の國分功一郎さんがどこかで「考えるって事は受動的な行為」と述べていましたが、人は考える環境になったときには自然と考えるようにできているようです。学生の皆さんも、もうすぐやってくる夏休みを使って少し自分の環境を変化させてみてはいかがでしょうか。そうすれば、授業で先生から言われてやるよりも楽しく考える力が身につくような気がします。ただ人は変化に対して恐怖を抱くようです。勇気がない人は馬鹿馬鹿しいくらい小さな変化に挑戦してください。まずは小さな挑戦を何にするか考えましょう。最後に、楽しいことを見つけてとにかく暑い夏を乗り切りましょう。



自分のやれることを

電子情報工学科

村田知也

どうも初めまして4月から本校に着任することになった村田知也です。

3月までは大学生でした。初めての仕事が教員ということで新米教師なわけです。とにかく自分のやれる精一杯のことをなんとか日々やっていこうという意気込みであり、やっていけているのだろうかという不安を抱えているのが私の現状であります。

私は高専というところ自体が初めてで、どのような仕組みになっているのか全く知りませんでした。

授業、実験、研究、顧問、雑務、それらすべてのことにおいて初めてづくして、わからないことが多い、何をするにしても手間ばかりかかる必要以上に忙しくなってしまいます。

そのせいか1日の密度が非常に濃いように感じられます。スケジュール帳に書かれた予定はビッシリと埋められ、大学生活のときと比べれば雲泥の差です。そのため着任してまだ数ヵ月ほどしか経っていないのに、ずいぶんと長く高専にいるような錯覚に陥っています。

逆浦島現象というのでしょうか。時間の流れるスピードが遅いように感じます。慣れてくればそういう感覚も薄れていいくだろうと思いますが、今のところはまだまだ余裕を持って働くことができずにいるみたいです。

ただ五月病のような心の病を患うこともなく、四苦八苦しながらもそれなりに楽しみながら福井高専に来ることができます。それはやはり優しく教示してくれる教職員の方々、親しく接してくれる学生たちのおかげです。

これからいろいろなところで関わり合いを持つようになるかと思います。この初心の気持ちを忘れずに自分らしく自分なりのやり方で頑張らせていただきます。よろしくお願いします。

【新任事務職員紹介】 H23.4.1

事務部長（宮城教育大学経営企画主幹から）
根本直之

総務課課長補佐（総務担当）（兼：企画推進室長）
(福井大学病院部経営企画課課長補佐から)
両保敦

学生課学生生活係長
(福井大学学務部教務課教養・共通教育係長から)
高村佳宏

総務課契約係契約主任
(福井大学財務部財務課契約第一係主任から)
坂井優子

総務課評価・地域連携係事務補佐員
廣瀬早苗

学生課学生生活係事務補佐員
渡辺和美

H23.5.1
総務課付事務補佐員
古賀洋子

中学生の皆さんへ

平成23年度 公開講座実施一覧

開催日	講座名	受講対象	定員	申込締切
6/18(土) 9:30~16:00	自律ロボット製作入門	小学校5~6年生(保護者要同伴) 中学生	8組	6/10(金)
7/3(日) 9:00~16:00	防災マップ作成講座	一般	10人	6/24(月)
7/24(日) 13:00~16:30	親子理科教室 「作ってみよう！やってみよう！」	小学校3~6年生 (保護者要同伴)	15組	7/15(金)
7/28(木) 13:30~16:30	電子顕微鏡でミクロな世界を見てみよう	中学生	10人	7/20(水)
7/30(土) 10:00~16:00	小さな大工さん講座 「建築模型をつくろう！！」	小学校5~6年生 中学生	8人	7/22(金)
7/30(土) 13:30~16:30	手作りビー玉スターリングエンジン	中学生	20人	7/22(金)
7/31(日) 10:00~16:00	やってみよう ソーラーカー手作り教室	小学生 (保護者要同伴)	20組	7/22(金)
7/31(日) 13:00~17:00	夏休みの自由研究講座 「ちからとかたち」	小学校4~6年生	12人	7/22(金)
7/31(日) 13:30~16:30	紙コブターを作つてみよう	中学生	20人	7/22(金)
8/13(土) 13:00~17:00	電子工作教室 「FMラジオを組み立てよう」	小学校4~6年生（保護者要同伴） 中学生 ※1家族から参加1名まで	10組	8/1(月)
9/10(土),11(日) 13:00~16:00	初めての簡単プログラミング	小学校4~6年生	10人	9/1(木)
9/10(土) 13:00~16:00	オリジナルの菜をつくろう2011	中学生	5人	9/1(木)
9/10(土),11(日) 13:00~16:00	光るタンパク質の不思議 「遺伝子組換え実験にチャレンジしよう」	中学生	5人	9/1(木)
9/24(土),25(日),11/5(土) 10:00~12:00	英検準2級合格をめざして	中学生以上 (英検3級取得者が望ましい)	20人	9/12(月)
10/1(土),2(日),11/5(土) 10:00~12:00	英検3級合格をめざして －受験対策講座－	中学生以上	20人	9/20(火)
11/3(木) 14:00~16:00	紫式部を読む	高校生以上	15人	10/21(金)
12/17(土),18(日) 10:00~12:00	英文法基礎講座	中学校3年生	20人	12/5(月)

中学校だより

中学校だより

“つながりあう学校”をめざして

福井市安居中学校

福井市西部に位置する安居中学校は小中併設校ですが、平成24年度に中学校が新築移転して独立し、県内で3校目の教科センター方式の学校として生まれ変わります。現在は、基礎工事がほぼ完了し、体育館や各教室の形が日ごとに明らかになってきている段階です。

本校は、100名程度の小規模校であることを生かして、全校が一体となって活動したり、集団のくくりを変化させたりして教育活動を行うことを考えています。その際には、異学年男女混合のグループをつくって活動するなどして、生徒どうしの多種多様なつながりをつくり、固定化された人間関係を打破するとともに、誰とでも協働していく力と育てていきたいと考えています。

そういう活動を展開しやすくするために、新校舎は教室配置の設計に工夫があり、この特徴を有効に活用していくための方法について、研究をすすめています。

例えば、ホームベース（学級教室）に囲まれた

『風のひろば（仮称）』というスペースがあり、このスペースを想定した異学年合同の活動を昨年から実践してきました。「思いで語ろう会」や「夢語ろう会」では先輩後輩の垣根を取り払って、自由に語り合う様子が見受けられました。今年は「友語ろう会」を計画しています。

また、本校のような小規模校だからこそ可能である、教科間の連携を図った授業の取り組みとして、美術と国語、音楽と社会・国語・道徳等、他の教科においてもその可能性を模索しているところです。このほかに、公民館と連携したり、地域の方をゲストティーチャーとして招いたりなどして、生徒・教員・地域の方々が深い絆で結びつく“つながりあう学校”をめざして、小規模校における教科センター方式のあり方を追求していくと考えています。



県道側から見た新校舎の鳥瞰図

第47回 体育祭点描



機械工学科（赤組）



電気電子工学科（青組）



電子情報工学科（緑組）



物質工学科（白組）



環境都市工学科（黄組）



選手宣誓



高専は、高専制度創設50周年にあたり、「進化する高専」を標榜し、科学技術創造立国を担う感性と創造性が豊かな実践的技術者の育成を通して、地域社会と国際社会の発展に貢献します。

題字 池田大祐校長、マーク 本校ロゴマーク
平成23年7月29日発行 ☆福井工業高等専門学校
☆〒916-8507 鯖江市下司町 TEL 0778-62-1111代